# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日


上 場 会 社 名　　株式会社昭和真空　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6384　　URL https://www.showashinku.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役執行役員社長　（氏名）田中　彰一
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員管理本部長　（氏名）杉山　茂紀　TEL　042-764-0392

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 2,370 | △35.9 | △218 | － | △216 | － | △211 | － |
| 2026年３月期中間期 | 3,695 | 42.7 | 129 | － | 151 | － | 91 | － |

（注）包括利益　2027年３月期中間期 △116百万円（　－%）　2026年３月期中間期　△2百万円（　－%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | △34.28 | － |
| 2026年３月期中間期 | 14.89 | － |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 14,311 | 11,635 | 81.3 | 1,881.00 |
| 2026年３月期 | 15,173 | 12,174 | 80.2 | 1,970.93 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　11,635百万円　　2026年３月期　12,174百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 0.00 | － | 70.00 | 70.00 |
| 2027年３月期 | － | 0.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | － | 70.00 | 70.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,800 | △5.6 | 803 | △27.8 | 823 | △29.8 | 560 | △35.4 | 90.66 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 6,499,000株 | 2026年３月期 | 6,499,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 313,049株 | 2026年３月期 | 322,149株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 6,180,301株 | 2026年３月期中間期 | 6,168,984株 |

2027年３月期中間期の期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託Ｅ口)が保有する当社株式58,400株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託Ｅ口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料４ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（追加情報） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（収益認識関係） …… 12
３．補足説明 …… 13
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 13

# １．当中間決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）における世界経済は、中東情勢の緊迫化を背景としたエネルギー価格への影響懸念や地政学的リスクの継続などにより、地域や産業によって景況感にばらつきが見られました。一方で、ＡＩ関連投資の拡大やテクノロジー関連需要の底堅さに支えられ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、各種政策の効果を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られ、設備投資も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、地政学的リスクや金融資本市場の変動、自然災害の発生等による経済活動への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先である電子部品メーカにおける在庫調整は概ね終了し、車載向けやデータセンター関連を中心に需要回復の動きが見られました。しかし、業界ごとの需要動向にはばらつきがあり、生産活動の回復ペースは緩やかに推移いたしました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品業界を中心とした新規先からの受注を獲得いたしました。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努め、顧客への納品に注力いたしましたが、一部案件に納品スケジュールの後倒しが発生しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、受注高は63億25百万円（前年同期比98.1％増）、売上高は23億70百万円（同35.9％減）となりました。損益につきましては、経常損失２億16百万円（前年同期は１億51百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失２億11百万円（前年同期は91百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は50億85百万円（前年同期比120.8％増）、売上高は13億29百万円（同50.3％減）、セグメント利益は87百万円（同79.3％減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

（水晶デバイス装置）

水晶デバイス業界では、ＡＩデータセンター向けサーバー用水晶デバイスの需要増加や、自動車の電装化・電子制御の高度化に伴う高付加価値製品の需要を背景として、生産能力の増強や既存設備の更新に向けた投資の動きが見られました。このような環境の中、当社は、国内外の主要顧客における設備投資需要を着実に取り込み、受注を獲得いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は20億97百万円（前年同期比228.3％増）、売上高は６億９百万円（同42.4％減）となりました。

（光学装置）

光学業界では、スマートフォンの出荷台数が前年同期を下回る水準で推移したことなどから、デバイスメーカによる増産設備投資は限定的となり、市場全体では低調に推移いたしました。このような環境の中、一部顧客による設備投資案件を着実に受注獲得につなげました。

光学装置の受注高は14億55百万円（前年同期比595.7％増）、売上高は18百万円（同98.6％減）となりました。

（電子部品装置・その他装置）

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努めることで、航空宇宙関連をはじめ、車載関連、研究開発用途などの受注を獲得いたしました。

電子部品装置・その他装置の受注高は15億33百万円（前年同期比5.4％増）、売上高は７億１百万円（同148.5％増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めました。

サービス事業の受注高は12億39百万円（前年同期比39.5％増）、売上高は10億40百万円（同1.7％増）、セグメント利益は２億19百万円（同0.1％増）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は105億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億74百万円減少しました。これは主に仕掛品が10億98百万円増加、売掛金が14億７百万円減少、現金及び預金が６億81百万円減少したことによるものです。固定資産は37億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。これは主に建設仮勘定が34百万円減少、減価償却の進行により建物及び構築物が28百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は143億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億62百万円減少しました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は18億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億82百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が１億４百万円増加、１年内償還予定の社債が４億50百万円減少、未払法人税等が１億70百万円減少、賞与引当金が１億61百万円減少、１年内返済予定の長期借入金が１億円減少したことによるものです。固定負債は８億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億58百万円増加しました。これは主に社債が２億50百万円増加、長期借入金が２億円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は26億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億23百万円減少しました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は116億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億38百万円減少しました。これは主に為替換算調整勘定が１億９百万円増加、配当金４億35百万円の支払い、親会社株主に帰属する中間純損失２億11百万円の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は81.3％（前連結会計年度末は80.2％）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して６億85百万円減少し、53億52百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金支出は３億14百万円（前年同期は22億73百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少14億39百万円などの獲得はあったものの、棚卸資産の増加11億70百万円、税金等調整前中間純損失２億16百万円、法人税等の支払額１億79百万円、賞与引当金の減少１億61百万円などの支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金支出は48百万円（前年同期比84.5％減）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入３億円などの獲得はあったものの、定期預金の預入による支出３億円、有形固定資産の取得45百万円などの支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金支出は４億43百万円（前年同期比1.1％増）となりました。これは主に、社債の発行による収入２億45百万円、長期借入れによる収入２億円、短期借入れによる収入１億円などの獲得はあったものの、配当金の支払額４億35百万円、社債の償還による支出４億50百万円、長期借入金の返済による支出１億円などの支出があったことによるものです。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年10月16日付「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,450,300 | 5,768,786 |
| 受取手形 | 541 | － |
| 電子記録債権 | 237,688 | 214,322 |
| 売掛金 | 2,731,559 | 1,323,659 |
| 商品及び製品 | 2,051 | 1,519 |
| 仕掛品 | 1,594,326 | 2,693,245 |
| 原材料及び貯蔵品 | 263,644 | 343,076 |
| その他 | 62,581 | 223,743 |
| 貸倒引当金 | △947 | △1,563 |
| 流動資産合計 | 11,341,745 | 10,566,788 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 828,437 | 799,829 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 173,875 | 178,857 |
| 土地 | 1,970,562 | 1,970,562 |
| 建設仮勘定 | 90,971 | 56,905 |
| その他（純額） | 98,276 | 101,824 |
| 有形固定資産合計 | 3,162,123 | 3,107,979 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 430 | － |
| その他 | 62,685 | 59,145 |
| 無形固定資産合計 | 63,116 | 59,145 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 260,708 | 253,802 |
| 繰延税金資産 | 214,438 | 199,031 |
| 退職給付に係る資産 | 101,435 | 94,359 |
| その他 | 30,815 | 30,860 |
| 貸倒引当金 | △981 | △917 |
| 投資その他の資産合計 | 606,416 | 577,136 |
| 固定資産合計 | 3,831,656 | 3,744,261 |
| 資産合計 | 15,173,402 | 14,311,049 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 719,078 | 823,523 |
| 電子記録債務 | 101,770 | 142,158 |
| 短期借入金 | － | 100,000 |
| １年内償還予定の社債 | 450,000 | － |
| １年内返済予定の長期借入金 | 100,000 | － |
| リース債務 | 6,523 | 5,796 |
| 未払費用 | 192,998 | 155,184 |
| 未払法人税等 | 188,853 | 18,465 |
| 前受金 | 292,219 | 305,331 |
| 賞与引当金 | 272,110 | 110,884 |
| 役員賞与引当金 | 85,300 | 28,268 |
| 製品保証引当金 | 52,000 | 32,000 |
| 工事損失引当金 | 9,200 | 38,300 |
| その他 | 119,295 | 46,970 |
| 流動負債合計 | 2,589,348 | 1,806,881 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | － | 250,000 |
| 長期借入金 | － | 200,000 |
| リース債務 | 12,385 | 9,487 |
| 退職給付に係る負債 | 256,016 | 270,435 |
| 株式給付引当金 | 66,293 | 63,261 |
| 長期未払金 | 75,192 | 75,190 |
| 固定負債合計 | 409,887 | 868,373 |
| 負債合計 | 2,999,236 | 2,675,255 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,177,105 | 2,177,105 |
| 資本剰余金 | 2,798,018 | 2,804,856 |
| 利益剰余金 | 6,782,420 | 6,134,006 |
| 自己株式 | △297,452 | △289,380 |
| 株主資本合計 | 11,460,092 | 10,826,588 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 157,264 | 152,531 |
| 為替換算調整勘定 | 470,445 | 579,962 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 86,363 | 76,711 |
| その他の包括利益累計額合計 | 714,073 | 809,206 |
| 純資産合計 | 12,174,165 | 11,635,794 |
| 負債純資産合計 | 15,173,402 | 14,311,049 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,695,266 | 2,370,119 |
| 売上原価 | 2,648,924 | 1,697,138 |
| 売上総利益 | 1,046,342 | 672,980 |
| 販売費及び一般管理費 | 917,329 | 891,848 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 129,012 | △218,868 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,169 | 3,533 |
| 受取配当金 | 4,822 | 4,474 |
| 受取賃貸料 | 1,011 | 1,048 |
| 補助金収入 | 9,735 | 4,121 |
| 為替差益 | 2,187 | － |
| その他 | 3,439 | 2,342 |
| 営業外収益合計 | 24,366 | 15,520 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 838 | 846 |
| 支払保証料 | 769 | 771 |
| 為替差損 | － | 5,964 |
| 社債発行費 | － | 4,645 |
| その他 | 496 | 1,291 |
| 営業外費用合計 | 2,104 | 13,520 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 151,274 | △216,867 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 2 |
| 特別損失合計 | 0 | 2 |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 151,274 | △216,870 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,530 | 5,482 |
| 過年度法人税等 | － | △32,574 |
| 法人税等調整額 | 47,860 | 22,090 |
| 法人税等合計 | 59,391 | △5,001 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 91,882 | △211,869 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△) | 91,882 | △211,869 |

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 91,882 | △211,869 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25,823 | △4,732 |
| 為替換算調整勘定 | △113,640 | 109,517 |
| 退職給付に係る調整額 | △6,355 | △9,652 |
| その他の包括利益合計 | △94,172 | 95,132 |
| 中間包括利益 | △2,290 | △116,736 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △2,290 | △116,736 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 151,274 | △216,870 |
| 減価償却費 | 119,197 | 103,676 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | － | 472 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 12,808 | 14,419 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △27,500 | △57,031 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △93,453 | △161,225 |
| 製品保証引当金の増減額（△は減少） | 6,000 | △20,000 |
| 工事損失引当金の増減額（△は減少） | △25,000 | 29,100 |
| 株式給付引当金の増減額（△は減少） | 2,263 | △1,506 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7,992 | △8,008 |
| 支払利息 | 838 | 846 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 2,335,381 | 1,439,126 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △137,605 | △1,170,811 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 115,288 | 142,322 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | △62,951 | △36,774 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | 129,001 | △96,783 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 1,783 | △73,162 |
| 前受金の増減額（△は減少） | 20,485 | 12,338 |
| その他 | 7,358 | △45,107 |
| 小計 | 2,547,178 | △144,980 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,711 | 7,657 |
| 利息の支払額 | △840 | △1,552 |
| 法人税等の支払額 | △280,427 | △179,526 |
| 法人税等の還付額 | 207 | 4,151 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,273,829 | △314,250 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △201,216 | △300,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | － | 300,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △113,547 | △45,240 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △599 | △3,075 |
| その他 | 2,816 | － |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △312,548 | △48,315 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | － | 100,000 |
| 長期借入れによる収入 | － | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | － | △100,000 |
| 社債の発行による収入 | － | 245,354 |
| 社債の償還による支出 | － | △450,000 |
| 配当金の支払額 | △435,384 | △435,530 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △3,431 | △3,625 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △438,816 | △443,801 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △80,777 | 120,749 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,441,687 | △685,617 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,813,428 | 6,037,983 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 6,255,115 | 5,352,365 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、2020年11月６日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」制度（以下、「本制度」という。）を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は82,526千円、59,500株、当中間連結会計期間末は81,000千円、58,400株です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,672,368 | 1,022,897 | 3,695,266 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 20,357 | 14 | 20,371 |
| 計 | 2,692,725 | 1,022,912 | 3,715,637 |
| セグメント利益 | 419,787 | 219,003 | 638,790 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 638,790 |
| セグメント間取引消去 | 12,633 |
| 全社費用（注） | △522,411 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 129,012 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,329,382 | 1,040,736 | 2,370,119 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 176 | 246 | 422 |
| 計 | 1,329,558 | 1,040,983 | 2,370,542 |
| セグメント利益 | 87,012 | 219,186 | 306,199 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 306,199 |
| セグメント間取引消去 | 13,297 |
| 全社費用（注） | △538,365 |
| 中間連結損益計算書の営業損失（△） | △218,868 |

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）

（単位：千円）

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 水晶デバイス | 1,058,587 | 151,186 | 1,209,774 |
| 光学 | 1,331,455 | 283,396 | 1,614,852 |
| 電子部品 | 282,325 | 531,789 | 814,114 |
| その他 | － | 56,525 | 56,525 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,672,368 | 1,022,897 | 3,695,266 |
| 外部顧客への売上高 | 2,672,368 | 1,022,897 | 3,695,266 |

当中間連結会計期間（自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）

（単位：千円）

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 水晶デバイス | 609,371 | 216,600 | 825,971 |
| 光学 | 18,328 | 296,831 | 315,160 |
| 電子部品 | 701,682 | 468,435 | 1,170,118 |
| その他 | － | 58,869 | 58,869 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,329,382 | 1,040,736 | 2,370,119 |
| 外部顧客への売上高 | 1,329,382 | 1,040,736 | 2,370,119 |

## ３．補足説明

### （１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当中間連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日）<br>（千円） | 前年中間期増減率(%) |
|---|---|---|
| 真空技術応用装置事業 | | |
| 水晶デバイス装置 | 609,371 | △42.4 |
| 光学装置 | 18,328 | △98.6 |
| 電子部品装置 | 701,682 | 148.5 |
| その他装置 | － | － |
| 真空技術応用装置事業計 | 1,329,382 | △50.3 |
| サービス事業 | | |
| 改造工事 | 238,116 | △36.7 |
| 部品販売 | 574,471 | 31.1 |
| 修理・その他 | 227,353 | 9.0 |
| サービス事業計 | 1,039,941 | 1.7 |
| 合計 | 2,369,323 | △35.9 |

（注）上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 受注高（千円） | 前年中間期増減率(%) | 受注残高（千円） | 前年中間期増減率(%) |
| 真空技術応用装置事業 | | | | |
| 水晶デバイス装置 | 2,097,045 | 228.3 | 2,998,134 | 6.3 |
| 光学装置 | 1,455,048 | 595.7 | 1,584,032 | 46.3 |
| 電子部品装置 | 1,533,637 | 5.4 | 2,262,369 | 15.6 |
| その他装置 | － | － | － | － |
| 真空技術応用装置事業計 | 5,085,732 | 120.8 | 6,844,536 | 16.8 |
| サービス事業 | | | | |
| 改造工事 | 436,891 | 80.8 | 466,013 | 83.2 |
| 部品販売 | 575,267 | 31.2 | － | － |
| 修理・その他 | 227,353 | 9.0 | － | － |
| サービス事業計 | 1,239,511 | 39.5 | 466,013 | 83.2 |
| 合計 | 6,325,243 | 98.1 | 7,310,549 | 19.6 |

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日）<br>（千円） | 前年中間期増減率(%) |
|---|---|---|
| 真空技術応用装置事業 | | |
| 水晶デバイス装置 | 609,371 | △42.4 |
| 光学装置 | 18,328 | △98.6 |
| 電子部品装置 | 701,682 | 148.5 |
| その他装置 | － | － |
| 真空技術応用装置事業計 | 1,329,382 | △50.3 |
| サービス事業 | | |
| 改造工事 | 238,116 | △36.7 |
| 部品販売 | 575,267 | 31.2 |
| 修理・その他 | 227,353 | 9.0 |
| サービス事業計 | 1,040,736 | 1.7 |
| 合計 | 2,370,119 | △35.9 |

（注）セグメント間の取引については相殺消去しております。